

【資料 1】

上越市のG I G Aスクール構想について

1 G I G Aスクール構想について

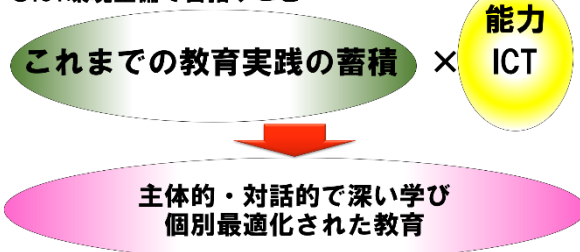
G I G Aスクール構想とは？

- 児童生徒向けの1人1台端末
- 高速大容量の通信ネットワーク

多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく
公正に個別最適化され、資質・能力が
一層確実に育成できる教育ICT環境

G I G Aスクール構想とは？

- ICT環境整備で目指すこと



2 ICTを活用した学習について

- 一人一人の児童生徒の興味や課題に応じた情報が検索できたり、教科書に記載されているQRコードを読み取り、一人一人の児童生徒の学習速度に合わせてデジタルコンテンツを活用したりする授業展開が可能となります。理解しにくい内容を動画で何度も確認することもできるようになります。
- グループワークでは、子ども一人一人が独自の視点で情報を収集して整理、分析すること、そして、それらを即時に周りと共有して議論することが可能です。その過程で、児童生徒は、情報の真偽を確認しながら考えを深めていくことを経験したりして、情報活用力を育むことができます。

○G I G Aスクール構想は、児童生徒向けの1人1台の情報端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、十人十色である子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させることがねらいです。

○1人1台端末の導入により学習環境が変化します。しかし、これまでと変わらずに大切なものは教師と子ども、子ども同士の温かな人間関係です。その上で、従来の授業のよさと、ICTを活用した授業のよさをベストミックスすることで、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指します。



▲上越市内小学校でのタブレット端末を活用した授業風景

上越市ではiPadを市の備品として整備し、校内ネットワークとセットで利用します。学校での利活用を第一に進め、子どもたちへの情報モラルの指導を行い、情報活用能力の向上を目指します。そして、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図ります。また、当初はiPadの日常的な持ち帰りは行わず、臨時休業時などに家庭に持ち帰ることとし、非常時の備えとします。

上越市のG I G Aスクール構想やICTの活用について、各家庭に配付された10月27日付「地域教育往来 56号」（上越地域学校教育支援センター編集）にも紹介されています。ご覧ください。